

支援テーマ

独自の漏水調査技術に関する事業・知財戦略ブラッシュアップと
営業秘密管理体制構築

企業概要

所在地	宮崎県延岡市昭和町3丁目2016番地
代表	代表取締役 松本 幸三
ウェブサイト	http://suikentec.com/
従業員数	11名
資本金	1,000万円
設立	1985年
事業内容	官庁関係の水道管漏水調査、個人宅の漏水調査



漏水調査の様子

優先課題

課題 独自技術である漏水調査技術の競争力強化と営業秘密管理

- 営業秘密の情報漏洩を防止するための社内管理体制の構築が必要である。
- 特許出願内容を精査して今後の整合性を計り、検討すべき問題点がある。
- 業務内容ごとに作業マニュアル等を作成して、コスト、作業時間、調査効果の比較表や差別化した独自工法による競争力アップと情報管理体制の強化。

伴走支援内容

第1回 事業戦略確認

- 事業戦略の共有
- 漏水調査のニーズ分析：顧客ニーズを探り、特許内容の構成要素の確認
- 目指す知財戦略のイメージ共有：出願権利内容の分析と情報漏洩を防止するための、営業秘密管理の線引きと構成要件の協議

第2回 事業戦略ブラッシュアップ①

- 知財を活かすための独自技術の知財戦略と競争力分析
- 協同事業を行う為に必要な特許の使用範囲、ノウハウ管理に関する協議

第3回 事業戦略ブラッシュアップ②、営業秘密管理体制

- 特許認証を受けた治具の現物を確認した上で、特許内容を精査して知財戦略の可能性を探るための協議
- ノウハウとして抽出すべき作業の手順や判断基準に関する助言
- 営業秘密管理の方法に関する助言（文章化、リスト化・ラベリング、アクセス管理など）
- 営業秘密管理システムに関する方向性と社内体制の協議

第4回 事業戦略と知財戦略の整合性検討

- 経営デザインシートに基づき、事業・知財戦略の確認
- ノウハウを成文化した作業マニュアルの取り扱い・著作権に関する助言



対面支援の様子

伴走支援の成果

- 事業戦略のブラッシュアップ
- ノウハウを含めた知財戦略のブラッシュアップ
- 事業戦略と知財戦略の整合性の検討

支援先企業の声



水研テック株式会社
代表取締役
松本 幸三 氏

■ 今回の支援を通して得た気づき・学び・社内の変化

- 知的財産権を守るには、知的財産の侵害を防止する事も重要だと思いましたが、最も重要なことはその前に知的財産権の内容の精査と整合性を図る事と、権利を守るには一貫した情報漏洩防止対策強化が必要と言う事を学びました。
- 本社と支社とで共有する情報管理方法も去ることながら、従来からの情報管理方式を見直して専門家の力を借りて漏洩防止対策を強化することに加え、社員教育の重要性や社内環境の整備改善に気が付きました。

■ 今後の展望・方向性（知財経営を中心に）

- 今後は、専門家の手を借りて営業秘密の管理体制の強化対策を行います。
- 今後の方向性として、「地元の力を、地域のために、地域貢献できる」ための、水道民営化時代に即応した地域貢献可能な事業戦略を立案します。
- 今後の知財戦略として、先に取得した特許技術の整合性の検討を行い、模倣対策を考慮した特許申請と知財戦略に向けた技術開発を行います。

支援チーム



支援チームリーダー
有限責任監査法人トーマツ
マネジャー
近藤 真吾 氏

支援チームリーダーより

- 知財総合支援窓口や金融機関の協力を得ながら、事業戦略実施に必要な、管理すべき営業秘密（ノウハウ）の具現化と管理体制の構築を支援できたことは大きな成果です。



支援チーム専門家
イト弁理士事務所
所長 弁理士
松本 秀治 氏

知財戦略に関する助言を
担当

オブザーバー

延岡信用金庫、INPIT宮崎県知財総合支援窓口、経済産業省 九州経済産業局